

平成 27 年度

社会福祉法人大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

1 法人運営の強化

(1) 組織の強化

①理事会・評議員会の開催

(ア) 理事会

[平成 27 年 5 月 26 日] 14 名出席 (書面 1 名)

- ・平成 26 年度事業報告 (案) について
- ・平成 26 年度決算報告 (案) について

[平成 27 年 12 月 18 日] 13 名出席 (書面 2 名)

- ・マイナンバー制度導入に伴う諸規則等の制定 (案) 及び一部改正 (案) について
- ・評議員の改選 (補充) について

[平成 28 年 1 月 27 日] 13 名出席

- ・会長・副会長の選任について

[平成 28 年 3 月 24 日] 12 名出席 (書面 1 名)

- ・平成 27 年度補正予算 (案) について
- ・定款変更 (案) について
- ・平成 28 年度事業計画 (案) について
- ・平成 28 年度事業予算 (案) について

(イ) 評議員会

[平成 27 年 5 月 26 日] 24 名出席

- ・平成 26 年度事業報告 (案) について
- ・平成 26 年度決算報告 (案) について

[平成 28 年 3 月 24 日] 27 名出席

- ・平成 27 年度補正予算 (案) について
- ・定款変更 (案) について
- ・平成 28 年度事業計画 (案) について
- ・平成 28 年度事業予算 (案) について

②会員組織の充実と会員の募集・拡充

現会員には引き続き周知し、賛助会員へもイベント等を通じて募集を行い、新規会員の拡充に努めた。

組織構成会員	14 団体	
賛助会員	9 団体	14 人

(2) 善意銀行の運営

住民の善意を福祉向上に役立てるために善意銀行を運営し、区内の住民等への情報発信、啓発活動を実施した。また、善意銀行運営委員会を開催し、各申請団体に対し助成を行った。

善意銀行運営委員会の開催

[平成 27 年 5 月 26 日]

- ・平成 26 年度 善意銀行収支報告書
- ・平成 27 年度 善意銀行特定テーマ払出「福祉ボランティア活動応援資金」申請団体について
※13 団体に払出決定

[平成 27 年 11 月 25 日]

- ・母子家庭への歳末見舞品贈呈について
- ・歳末助け合い運動実施資金について
※2 団体に払出決定

[平成 28 年 3 月 24 日]

- ・運営委員一部改選について
- ・平成 27 年度払出一部変更について
- ・平成 28 年度特定テーマ払出「福祉ボランティア活動応援資金」の申請について

(3) 共同募金並びに日赤業務への連携・協力

①共同募金の有効な運用と運動への協力

大阪府共同募金会より平成 27 年度共同募金配分金（平成 26 年度募金による）として 2,317,870 円の配分を受け、区内福祉活動の充実を図るべく関係団体に配分すると共に、「区社協だより」を発行し広報啓発活動や、平成 26 年度に作成した、障がい者支援情報紹介のための「心のバリアフリーカード」の配布に取り組んだ。

また、平成 27 年 10 月 1 日～12 月 31 日の間、平成 27 年度（第 69 回）「赤い羽根共同募金運動」に街頭募金活動を行った。

- ・金婚夫婦お祝い品の贈呈（200 組）
- ・各地域社会福祉協議会
- ・区老人クラブ連合会
- ・区民生委員児童委員協議会
- ・区子ども会育成連絡協議会
- ・区体育厚生協会
- ・区手をつなぐ親の会
- ・区肢体不自由者父母の会
- ・区身体障害者団体協議会
- ・NPO 法人 にしよどにこネット
- ・特定非営利活動法人いきいき
- ・区障がい者地域自立支援協議会

平成 27 年度 西淀川区一般募金実績額 4,004,462 円

②日赤業務への協力

日本赤十字社大阪府支部並びに区奉仕団の社資募集業務等に協力した。

(4) 広報啓発活動の推進

①社協活動の広報

(ア) 区社協だよりの発行 (年 2 回)

- ・平成 27 年 8 月 第 55 号発行
- ・平成 28 年 1 月 第 56 号発行

(イ) ホームページの活用

区社協事業等について適時新たな情報を掲載し、広報啓発活動の充実を図った。

②区民まつりへの参加

[平成 27 年 9 月 19 日]

- ・区社協事業の広報活動 (社協パンフ及び各事業チラシ 200 部の配布)
- ・社協の名前入りのうちわや缶バッチの作成ブース出店

2 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉活動の推進

①地域社会福祉協議会への支援

地域社協委員長会の開催

[平成 27 年 7 月 2 日]

- ・地域社協事業運営費等助成について
- ・高齢者 (70 歳以上) 把握調査及び金婚夫婦の調査について
- ・組織構成会費について
- ・地域社会福祉協議会と地域活動協議会について
- ・その他 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について
ボランティア・市民活動センター 平成 27 年度報告について
敬老会等の確認について

②地域福祉活動への支援

地域が展開する福祉の推進を目的とする活動へ参画し、活動状況の把握及び活動者への助言・指導等を行った。

- ・ふれあい型食事サービス活動への参画 (57 回)
- ・ふれあい喫茶活動への参画 (57 回)
- ・子育てサロン活動への参画および支援にかかる保育士派遣調整 (28 回)
- ・地域活動協議会の福祉分野を含むまちづくり活動 (納涼会・敬老会・運動会) への参画 (33 回)

③地域福祉活動の促進

(ア) 地域福祉活動連絡会の開催

各地活協における地域福祉分野の活動を円滑かつ効果的に実施するための支援として、区役所と合同事務局を担い課題解決のための連絡会を開催した。

[平成 27 年 5 月 14 日]

- ・地域福祉活動について
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について
- ・地域福祉活動の情報共有について

[平成 27 年 7 月 9 日]

- ・港区の阪上真奈美さんのお話「世代をつなぐ地域活動について」
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

[平成 27 年 9 月 10 日]

- ・地域福祉活動について
ふれあい喫茶・ふれあい食事サービスについて
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

[平成 27 年 11 月 12 日]

- ・エルちゃんの見守り講座
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

[平成 28 年 1 月 14 日]

- ・地域福祉活動について
ライフライン事業者による見守り活動について
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

[平成 28 年 3 月 10 日]

- ・地域福祉推進ビジョンの策定に向けて
甲南女子大学 鈴木准教授
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業について

(イ) 社会福祉大会の開催

[平成 28 年 2 月 14 日] 202 人参加

第 1 部 式典

第 2 部 講演「西淀川区地域福祉推進ビジョンの策定に向けて」

講師 鈴木大介氏（甲南女子大学人間科学部准教授）

パネルディスカッション（活動報告）

藤浪和美さん（区障がい者相談支援センター「風の輪」）

布村三保子さん（姫里地区民生委員協議会委員長）

吉田智里さん（NPO 法人西淀川子どもセンター）

稲田紳五（区社会福祉協議会見守り相談室管理者）

第 3 部 ラッキー抽選会

(ウ) 地域支援システムの再構築及び専門部会・個別課題検討・各種会議への参画

- ・区要保護児童対策地域協議会、区障がい者・高齢者虐待防止連絡会、区障がい者地域自立支援協議会への参画（15 回）
- ・地域ケア会議（地域課題整理のための会議含む）への参画（7 回）
- ・地域支援システム等の検討や再構築にかかる連絡調整会議への出席（9 回）

④各種団体・関係機関・施設との連携・強化

(ア) 区社会福祉施設連絡会 総会、研修会及び全体会への参画

[平成 27 年 6 月 22 日]

総会

- ・平成 26 年度事業報告、決算報告について
- ・平成 27 年度事業計画、予算（案）について

研修会「救急隊員から学ぶ施設職員のための講習会」

[平成 27 年 9 月 28 日]

役員会

[平成 27 年 10 月 3 日]

研修会 「授業のユニバーサルデザイン化から学ぶ特別ではない支援をめざして」
講 師 大阪市こども相談センター教育相談担当係長 西原弘さん

[平成 27 年 12 月 3 日]

研修会 「普通救急救命講習会」
講 師 西淀川区消防署 職員

[平成 28 年 3 月 8 日]

基調講演「社会福祉法人の成り立ちから現在の情勢」

講 師 永岡正巳氏（日本福祉大学 教授）

実践報告会 吹田市社会福祉施設連絡会の取組みから

港区社会福祉施設連絡会及び施設の取組みから

(イ) 区子育て支援連絡会

区内における子育て支援にかかる活動の連携及び活性化を図ることを目的に、定例会議等を開催した。

- ・区子育て支援連絡会（12 回）
- ・児童対象絵本展実行委員会（7 回）
- ・子育てを応援する担い手育成・地域連携事業企画会議（6 回）
- ・区子ども読書活動推進連絡会議

[平成 27 年 10 月 30 日・11 月 1 日]

- ・乳幼児・児童対象「えほん展 ふわふわ」の共催

[平成 27 年 11 月 21 日]

- ・子育てを応援する担い手育成・地域連携事業「エコストーブ作り」の共催

(ウ) ふくふくミニまつりの開催

[平成 27 年 11 月 7 日] 約 600 人参加

区社協事業をより多くの区民に知っていただくとともに、地域福祉に取り組む団体・関係機関と区民との交流やつながり作りの機会として開催。

(エ) 四者連絡会

区内の子育て、こども、障がい、高齢の各分野で活動している団体が集まり、各分野の情報共有及び、横のつながりの強化を図る機会として開催。（4 回）

⑤災害対策における学習会及び訓練の実施

災害発生時、区社協災害対策本部の立ち上げや区災害ボランティアセンター、福祉避難所の開設、利用者の安否確認等の対応が求められる。そこで、災害発生初期段階での対応や対策・心構え等、全職員が災害に対する役割や行動について知識を学ぶため大阪市危機管理室の協力を得、ワークショップ及び運営訓練を実施した。また、災害時に効果的な連携を果たすために、大阪ボランティア協会・大阪府社協・大阪市社協・堺市社協の 4 団体の呼びかけによる、「おおさか災害支援ネットワーク報告会」に参加し関係づくりに努めた。（3 回）

[平成 27 年 12 月 24 日]

第 1 回ワークショップ

- ・災害（地震）のメカニズム

- ・区社協関連の図上訓練（D I G）
- ・区社協としての災害対応の概要
- ・災害ボランティアセンター災害時の状況概要

[平成 28 年 1 月 14 日・15 日]

第 2 回ワークショップ

- ・区内各地域や福祉施設での災害対応
- ・区社協の災害対策本部の編成及び役割
- ・災害ボランティアセンターの活動概要
- ・利用者の安否確認方法の具体化

[平成 28 年 2 月 3 日]

第 3 回ワークショップ

- ・区社協災害対策本部の活動要領
- ・災害ボランティアセンターの活動要領
- ・訓練時のボランティアの活動概要
- ・ロールプレイングでの訓練実習

[平成 28 年 2 月 18 日]

- ・区社協災害対策本部及び災害ボランティアセンター開設訓練の実施
- ・福祉避難所合同訓練への参加

⑥防災（減災）への活動支援

（ア）区内一斉避難訓練への参画

[平成 27 年 1 月 24 日]

（イ）福祉避難所連絡会への参加

[平成 27 年 8 月 4 日、平成 28 年 2 月 2 日]

⑦福祉教育の充実

小・中学校等で、車いす体験・アイマスク体験及び当事者を交えた学習会を通し、障がい者理解啓発について取り組むと共に、福祉教育に関する物品を広く貸し出し、福祉教育の推進を図った。

（ア）福祉教育

[平成 27 年 11 月 25 日・26 日]

- ・西淀中学校 2 年生（195 人）アイマスク体験及び障がい当事者の講話

[平成 27 年 12 月 9 日]

- ・佃中学校 1 年生（180 人）車いす体験及び障がい当事者の講話

[平成 27 年 12 月 15 日・16 日]

- ・佃西小学校 4 年生（57 人）車いす体験、アイマスク体験及び障がい当事者の講話

[平成 28 年 1 月 29 日]

- ・姫里小学校 3 年生（65 人）車いす体験及び障がい当事者の講話

[平成 28 年 3 月 26 日]

- ・春休みキッズ認知症サポーター養成講座(小学 4～6 年生向け)

（イ）物品の貸出し

- ・車いす、段差の板等（9 回）

⑧キャラバン・メイト連絡会の開催

区内における認知症サポーター養成講座の講師役（ボランティア）のメンバーの連携及び区内の認知症の正しい理解促進を図ることを目的に連絡会を開催した。

- ・連絡会（7回）
- ・認知症サポーター養成講座の開催（19回）

⑨大型遊具貸出事業

地域における子育てサロン活動等の支援として大型遊具の貸し出しを行った。
 ・大型遊具貸出（計2回）

⑩車いす貸出事業

日常生活において、一時的に車いすが必要となった方に1週間以内無料貸し出しを行った。（80件）

⑪生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金制度の相談窓口としてさまざまな生活課題を抱える人たちに対して、相談支援を行った。

相談・申請受付件数

福祉資金・教育支援資金			総合支援資金		
電話相談	窓口相談	申込書配付	電話相談	相談窓口	申込書配付
297件	168件	102件	100件	53件	27件

3 ボランティア・市民活動センターの運営

（1）ボランティアに関する相談支援及び活動の登録・需給調整

①個人登録、ボランティアグループ登録者数

個人登録数	グループ登録数
125人	14グループ

②ボランティアに関する相談

ボランティア相談件数
145件

③ボランティア保険の受付件数

活動保険	行事保険	非営利有償活動団体保険
91件	194件	1件
1,145人	9,490人	18人

（2）ボランティアグループの支援

- ・ボランティアグループ交流会
- ・「点字サークル“ひかり”」定例会、活動支援
- ・「裁縫ボランティアグループ“ソーイングさざんか”」定例会、活動支援

- ・「西淀川おもちゃ図書館“おもちゃばこ”」定例会、活動支援
- ・「ティンカーベル～ハンドベルグループ～」活動支援
- ・「園芸ボランティアグループ」活動支援
- ・「絵手紙ボランティアグループ“遊楽の会”」定例会、活動支援
- ・「音訳グループ“やまびこ”」活動支援
- ・「西淀川区歌体操」活動支援
- ・「夢ゆめ仲間～マジック～」活動支援
- ・「ラウナ。レレ～フラダンス～」活動支援
- ・「オフィスイノベーション～超魔術～」活動支援
- ・「笑いヨガ～笑っこ倶楽部～」活動支援
- ・ボランティア交流会の開催

(3) ボランティアの養成

課題（テーマ）別ボランティア講座の開講

- ・施設活動ボランティア養成講座（3回）
- ・災害ボランティア養成講座（2回）
- ・保育ボランティア養成講座（5回）

(4) 災害ボランティア養成講座の開催

- ・災害ボランティアの役割・心構えについて 13名参加
講師：一般社団法人災害復興支援協議会 ダッシュ隊大阪
- ・避難所運営ゲーム（HUG）／西淀川区の災害対策について 18名参加
講師：大阪市ボランティア・市民活動センター
区役所危機管理・安全グループ

(5) ボランティアに関する広報啓発活動

- ・JR 御幣島駅構内にパンフレットラックを設置（講演会及び講座情報の周知）
- ・西淀川区社会福祉協議会ホームページに掲載
- ・「区社協だより」に“ボランティア・市民活動センター”情報掲載
- ・ボランティア登録者へボランティア・市民活動センター情報誌、資料の発送（12回）
- ・リーフレットの作成

(6) 新たなネットワークの開拓・構築

- ・区内企業・事業所社会貢献参加アンケート（1回）
- ・異業種交流会（3回）
- ・交流カフェふくふく（2回）

(7) ボランティア市民活動センター運営委員会

- ・ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催（3回）

4 地域と連携した要援護者の見守りネットワークの強化

(1) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

見守り相談室の機能や役割について、地域住民・関係機関等へ周知を図りながら要援護者の把握、見守りネットワークによる専門的な対応を実施した。

機能①「要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備」

行政が保有する要援護者情報を集約し、郵送・訪問により地域団体等への情報提供に係る要援護者名簿の整備を行った。

平成 27 年度は、年 2 回（9 月・2 月）に計 3,716 名に対し、要援護者名簿に係る同意確認のための発送作業を行い、有効回答数(同意・不同意)は 1,705 名であった。

また、訪問による同意確認は計 268 回行い、有効回答数（同意・不同意）は 75 名であった。

郵送による同意確認（件）		訪問による同意確認（件）	
発送数	3, 7 1 6	新規訪問	2 6 8
回答数 (回答率 44.81%)	1, 7 0 5	回答数 (回答率 27.99%)	7 5
同意	1, 5 4 7	同意	6 4
不同意	1 5 8	不同意	1 1

機能②「孤立世帯等への専門的対応」

見守り支援ネットワークが、孤独死防止のための要援護者へのアウトリーチ、制度の狭間の相談ニーズへの対応等専門的支援を実施した。

相談延べ件数（件）		相談属性内訳（件）	
訪問による相談	2 2 7	要介護・要支援高齢者	1 5 6
電話による相談	4 1 2	要介護・要支援以外の高齢者	3 7
来所による相談	1 3 5	身体障がい者・児	1 0 0
その他	0	知的障がい者・児	1 5
合計	7 7 4	精神障がい者・児	1 8 6
		発達障がい者・児	0
		難病	0
		引きこもり	1 3
		ごみ屋敷	0
		生活困窮者	2 4 9
		子育て中の保護者	1 0
		その他（65歳未満、障がいなし）	8
		合計	7 7 4

「機能②専門的支援事例紹介」

【概要】

ローンが残るマンションに住む50代の男性。10年前に職を失ってから、貯蓄を崩して生活してきた。精神疾患の疑いがあり、階下住民とのトラブルのため入院の経歴あり。貯金が残りに少なくローン支払いが困難になり、区役所に相談した。区社協の生活福祉資金貸付窓口を紹介してもらい来所するが貸付の条件に満たなかったため、見守り相談室が専門的な支援を開始した。

聞き取りを進める中で、「マンションのローンが残っており生活保護申請が困難。」「銀行より返済に関する催告書も届いている。」「精神疾患が強く一人で行動するには不安が大きい。」「家の中はゴミ屋敷状態。」「グループホーム等の施設に入所したい。」と複合的な課題を抱えており関係機関と連携をしながら援助を行うことになった。

【結果】

- ・安定した一人暮らしのための生活基盤の確立（住宅と収入の確保、ローンの清算等）
- ・作業所への通所や精神障害者の社会復帰講座等への参加を促し定期参加へつないだ。

【事例のポイント】

- ・社協としてワンストップの連携支援
- ・精神疾患特有の不安への寄り添い
- ・本人が自立した生活を送るための環境整備、調整（地域内での生活、社会参加、相談機関への橋渡し）

機能③「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

認知症等による行方不明者の早期発見に向けた事前登録、検索に協力できるライフライン事業者や民間事業者の開拓を行い、行方不明発生時には、協力者へメールにて情報配信を行った。

(1) 事前登録者 5人

(2) 事業協力指定事業者 100箇所

<内訳>民間事業者 9社

民政委員・児童委員 91人

(3) 配信数 38件

<内訳>広域（市外・府外） 32件

市内 4件

区内 2件

(2) 地域の見守り活動の支援（見守りネット倶楽部）

地域の会議等に参画し、見守り活動の仕組みづくりや、ニーズの早期把握のための仕組みづくりについて提案し、地域住民自らが困りごとを相談し合える地域づくりの推進を図る。

- ・定例地区民生委員協議会等への参加
柏里3回、野里3回、歌島5回、香篝2回、佃3回、大和田2回、千舟1回、姫里1回、姫島2回、福3回、川北1回、出来島7回
- ・社会福祉大会での講演

5 生活困窮者自立相談支援事業（相談支援）

（1）相談状況

①新規相談件数

（件）

相談受付総数		322	
うち	性別	男性	172
		女性	148
		不明	2
	年齢	～10代	3
		20代	34
		30代	38
		40代	65
		50代	72
		60～64歳	31
		65歳～	74
		不明	5

②相談経路

相談経路	件数
本人（来所）	206
本人（電話・メール）	8
家族・知人（来所）	12
家族・知人（電話・メール）	3
自立相談支援機関が把握	1
関係機関・関係者紹介	75
その他	17
不明	1

③相談内容

相談内容	件数
病気・けが	18
障がいについて	5
障がい（疑い）について	5
その他メンタルヘルスの課題	16
住まいの不安定について	8
経済的困窮について	50
（多重・過重）債務について	11
家計管理の課題について	6
就職活動が困難なケースについて	42
就職定着が困難なケースについて	19
生活習慣の乱れについて	5

社会的孤立（ニート・引きこもりを含む）について	5
家族関係・家族の問題について	10
中卒・高校中退について	8
ひとり親について	7
外国籍について	3
コミュニケーションが苦手	6
本人の能力課題について（識字・言語・理解等）	4
その他	2
不明	3

（２）アウトリーチの実施

①相談者等への家庭訪問・同行支援

- ・相談者等への家庭訪問・同行支援 97回
- ・相談者等が同行しない関係機関等訪問 277回
 ≪訪問先≫
 - ★地域関係者
 民生委員協議会、地域福祉活動連絡会、地域自立支援協議会、社会福祉施設連絡会、民生委員の自宅
 - ★地域の活動
 ふれあい喫茶、高齢者食事サービス、学習支援教室きらきら、西淀川インターナショナルコミュニティ
 - ★関係機関
 区役所DV担当・介護保険・障害福祉・地域保健、障がい者就労支援事業所、地域包括支援センター、銀行、不動産会社、年金事務所、病院、デイサービス、子ども子育てプラザ、NPO法人西淀川子どもセンター、コネクションズおおさか、大阪障害者職業センター、スーパーマーケット、ハローワーク、薬局、郵便局、銭湯、市営住宅、小学校、NPO法人多文化共生センター、レスキュー事業（松福会）

②出張相談会開催回数及び相談件数

- ・出張相談会 3回
- ・出張相談会における相談件数 4件

（３）就労支援

就職者数 64件

（４）区民への周知

生活自立相談・就労支援窓口の周知について、チラシの配布や区役所広報紙に掲載した。また、区内の各種団体や区社会福祉協議会における理事会・評議員会、各地域で実施されている「ふれあい喫茶」「高齢者食事サービス」等の地域活動や、連合振興町会を通じた班回覧のほか、病院や郵便局、銭湯、スーパーマーケット、障がい者の日中活動施設等にもチラシ設置を依頼した。

(5) 事業の成果

①制度のはざままで孤立し困窮する相談者の複合的な困難課題を把握・分析・整理し、専門機関等と連携し、具体的に解決できた。

【相談事例】

- ・ 40代～60歳代の無職の息子が、70代～80歳代の親の年金に頼って生活し、ヤミ金の被害にあったりして生活が苦しくなり、このことが原因で高齢者虐待に発展したケース。
 - ・ 医療費がなく、放置された重体の家族を発見し、救急搬送したケース。
 - ・ (以前就労していたが) 発達障がいや知的障がいの可能性により、長期の失業に陥った方に対して、障がい福祉の制度の利用や関係団体の支援につなげたケース。
- ②個別支援だけではなく、地域の民生委員やふれあい喫茶、高齢者食事サービス等の活動と連携し、相談者が支援後も地域住民とつながることができるように積極的に努めた。
- ③生活困窮者を通じた地域づくりをめざし、障害福祉・高齢福祉・児童福祉・医療等これまで縦割りになりがちであった分野を横断して、各関係者や関係機関に架橋することができた。

(6) 今後の課題

すぐに就労が難しい生活困窮者に対し、就労支援付きの就労訓練の場を提供してくれる事業者の開拓。

6 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理サービス、預かりサービスを行った。(前年度件数)

・平成27年度末 サービス利用件数	73件 (84件)
・契約締結件数	11件 (10件)
・契約解約件数	22件 (10件)
・初回相談受付件数	47件 (30件)

①事業実施状況

実利用者人数	認知症高齢者等	42人
	知的障がい者等	18人
	精神障がい者等	13人
	その他	0人
	合計	73人
利用希望状況 (3月末)	認知症高齢者等	7人
	知的障がい者等	3人
	精神障がい者等	3人
	その他	0人
	合計	13人
研修会・関係会議等への業務説明		1件

②年間個別談援助件数／相談述べ件数 4,918件

相談件数	電話・来所	
	認知症高齢者等	1,265件
	知的障がい者等	610件
	精神障がい者等	816件
	その他	24件
	合計	2,715件
相談件数	訪問	
	認知症高齢者等	1,275件
	知的障がい者等	387件
	精神障がい者等	537件
	その他	4件
	合計	2,203件
委任契約締結件数		
	認知症高齢者等	7件
	知的障がい者等	3件
	精神障がい者等	1件
	その他	0件
	合計	11件
委任契約終了件数		
	認知症高齢者等	19件
	知的障がい者等	1件
	精神障がい者等	2件
	その他	0件
	合計	22件

7 在宅福祉サービスの運営

(1) 通所型介護予防事業

高齢者にいきいきとした暮らしを維持して自立生活を続けていただくことを目的として「複合型プログラム」・「閉じこもり等予防」の2事業を実施した。

①複合型プログラム (1クール20回)

クール数	実人数	延人数
15クール	83人	1,153人

②閉じこもり等予防事業 (なにわ元気塾)

校区	二次予防参加者	一般参加人数	開設回数
柏里	93人	79人	12回

野 里	67人	31人	12回
歌 島	79人	89人	12回
香 簀	129人	68人	12回
竹 島	27人	50人	12回
佃	201人	31人	12回
大和田	135人	23人	12回
千 舟	58人	50人	12回
姫 里	142人	43人	12回
姫 島	139人	132人	12回
福	84人	51人	10回
大野百島	20人	34人	12回
川 北	59人	95人	12回
出来島	39人	91人	12回
合 計	1,272人	867人	166回

(2) 通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）

介護保険サービスとして通所による食事・入浴・送迎・健康チェック・レクリエーション・生活相談等のサービスを提供した。

①開所日 246日

②実績数

要介護状態区分	平成28年3月31日現在 登録者数	年間延利用者数
要支援1	1人	95人
要支援2	6人	572人
要介護1	5人	609人
要介護2	10人	783人
要介護3	1人	31人
要介護4	3人	135人
要介護5	2人	116人
合計	282人	2,341人
食事サービス提供者数		2,341人
入浴サービス利用者数		2,156人

(3) 居宅介護支援事業

介護保険制度における居宅介護支援事業者として介護認定（要介護1～5）を受けられた方と契約し、居宅で快適な生活が維持できるよう相談援助を行った。

年間ケアプラン作成数

ケアプラン作成数	要介護1	137件
	要介護2	113件
	要介護3	25件
	要介護4	9件
	要介護5	24件
	合計	308件

8 地域包括支援センターの運営

地域の高齢者の皆さんが安心して暮らしやすいために必要に応じて介護・福祉・保健・医療等のサービスが提供されるように支援した。

★基本情報(住民基本台帳人口データ（平成27年9月末現在より）

*西淀川区地域包括支援センター圏域人口

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総人口	55,382人	55,087人	54,886人
高齢者人口	12,340人	12,812人	13,114人
高齢化率	22.3%	23.3%	23.8%

①総合相談業務

地域高齢者の実態把握や虐待への対応等含む権利擁護等総合的な相談支援を行った。

【地域包括支援センターにおける総合相談実績】

		平成26年	平成27年
総合相談延べ件数	訪問による相談	924件	781件
	電話による相談	4,123件	3,177件
	来館による相談	395件	407件
	その他	129件	215件
合計		5,571件	4,580件
うち認知症疑いあり		2,734件	2,020件
相談実人数		696人	622人
	うち認知症疑いあり	195人	199人
	訪問による相談実人員	312人	245人

【相談内容】

	平成26年度	平成27年度
1位	介護予防サービス	介護予防サービス
2位	経済・生活問題	経済・生活問題
3位	家族・家庭問題	保健・医療サービス
4位	保健・医療サービス	成年後見制度
5位	虐待	虐待

	平成26年	平成27年
地域ケア会議（個別ケース、ふり返り、課題抽出含む）	53回	40回
サービス利用調整会議（虐待の判断、支援方針）	49回	32回

②地域におけるネットワーク構築

各関係機関と共に高齢者支援、認知症予防等の啓発を行った。

【関係機関・組織等とのネットワーク活用。地域住民への啓発活動】

	平成26年	平成27年
総合相談連絡会（ランチ連絡会）	27回	18回
包括連絡会	12回	12回
在宅医療多職種連携		12回
認知症サポーター養成講座参加	4回	10回
地区民生委員協議会への参加	24回	17回
介護者家族の会「ひまわり」への参加	10回	10回
男性介護者の会「ひょうたんの会」発足		4回
4者連絡会（子ども、障がい、区社協、包括）	3回	4回
医療ソーシャルワーカーとの懇談会開催	1回	1回
地域住民への啓発活動（当センター及び総合相談窓口PR）		
介護予防教室	4回	11回
ふれあい食事サービス・喫茶への参加	34回	19回
老人クラブ会への参加	5回	14回

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者の生活を支えるケアマネジャーを支援、また各関係機関とも連携しスキルアップのための研修も開催した。

	平成26年	平成27年
介護支援専門員個別相談件数	981件	1,006件
居宅介護支援事業者連絡会・研修会の開催参加	21回	20回
高齢者虐待防止合同研修他	2回	2回
居宅介護支援事業者への出張相談（2事業所）		4回
グループホーム連絡会	3回	5回
地域密着型サービス運営推進会議への参加	11回	7回

⑤介護予防のケアマネジメント

(ア) 要支援1・2における年間ケアプラン作成数

ケアプラン作成		平成26年	平成27年
	包括作成件数	1,846件	1,733件
	一部委託作成件数	5,524件	6,236件
	合計	7,370件	7,969件

9 老人福祉センターの運営

西淀川区における高齢者福祉の拠点施設として、区役所をはじめ当法人が運営する地域包括支援センター、地域活動支援部門と密接に連携し、また、区内各種団体のご支援・協力を得ながら、高齢者の生きがいと健康づくり、そして社会参加について必要なサービス・情報を提供した。年間を通じ、健康・生きがいに関する講座、教養の向上に資する講座を開催し自主サークル活動、ボランティア活動を支援した。

① 利用者数

開館日数	293日
延利用者	29,880人
一日平均利用者	102.5人
団体利用者	1,925人

②年齢別利用者数（団体利用者は除く）

(人)

60～69歳		70～79歳		80歳以上		その他		計		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
2,643	4,609	4,919	11,112	2,145	2,329	140	58	9,847	18,108	27,955

③団体利用状況

(人)

団体名	回数	男	女	計
老人クラブ	68	291	512	803
その他	25	654	468	1,122
計	93	945	980	1,925

※その他：佃地域活動協議会等

④各種講座実施状況

(人)

事業名	回数	男	女	計
各種教室	19	29	474	503
いちよう学園	4	8	143	151

手作り体験研修会	1	4	138	142
健康体操	6	12	291	303
骨盤体操	6	2	166	168
計	36	55	1,212	1,267

※各種教室：手作り・干支作り・七宝焼き・折り紙・男の料理教室

⑤合同事業実施状況

公的機関、各種団体、NPOと連携・協働した事業 (人)

事業名	回数	男	女	計	備考
ふれあいフェスティバル(2日)	1	129	650	779	老人クラブ
歯科講演会	1	7	32	39	歯科医師会
おとなのてらこや(認知症予防)	12	4	396	400	NPO
計	14	140	1,078	1,218	

※その他、大阪市保健所との連携による結核健診等。

⑥世代間交流事業実施状況

利用者によるボランティア活動、区事業への連携。(人)

事業名	回数	男	女	計
こども囲碁教室	63	281	68	349
に～よん文庫(区事業)	62	43	88	131
計	125	324	156	480

※その他、淀商業高校等との交流も行った。

⑦定例・特別行事実施状況

利用者へ相互交流とサークル活動発表の場を提供した。(人)

事業名	回数	男	女	計
お楽しみ会	6	54	260	314
お誕生会	6	17	93	110
その他	196	674	2,976	3,650
計	208	745	3,329	4,074

※その他：年忘れ会・歩こう会・社会見学・囲碁将棋大会等を行った。

⑧サークル活動状況

センター施設を中心として、生きがいと健康づくりを目指し、全23サークルが活動し交流した。

(人)

サークル名	回数	男	女	計
太極拳	83	176	2,162	2,338
フラダンス	59	0	1,204	1,204
カラオケ	48	203	1,576	1,779
上記以外のサークル	722	1,232	12,512	13,744
計	912	1,611	17,454	19,065

※上記以外のサークル：歌体操・編物・歩こう会・生花・楽しい歌広場・楽謡会・水彩画・カメラ・コーラス・詩吟・習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・ペン習字・民踊・リズム体操・歌声喫茶・3B体操

10 子ども・子育てプラザの管理運営

“子育て活動支援事業”（児童健全育成事業、地域関連事業含む）と“地域子育て支援拠点（つどいの広場）事業”をとおして、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちが集い交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図った。

（1）子育て活動支援事業

①子育て情報の収集、管理、提供

- ・プラザだよりの発行 44, 153部 67ヶ所
- ・ホームページを随時更新

②地域の自主的な子育て活動への支援

- ・子育てボランティア養成講座 4回2クール のべ18人
- ・子育てサロン・サークル及び支援者サークルへの後方支援 3回 29人
- ・大型遊具の貸し出し 3回 38人

③子育て中の親子の支援

- ・相談件数 10件
- ・子育て支援講座 87回 7, 115人（自由遊び含む）
※英語であそぼう、親子たいそう、親子クッキング、リラックスヨガ、クリスマスかい、パパの子育て支援事業、プレママ・プレパパ講座等

④児童健全育成

- 体験活動等 32回 7, 410人（自由遊び含む）
※おやつ作り教室、工場見学、ミニ夏まつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会等
- ※また、不登校の子ども達の対応を行い、登校できるまでにつなげた。

⑤地域関連事業

- 姫里地域お花見会、区民まつり、もちつき大会等 19回 1, 932人

⑥区事業

絵本展への協力、に～よんステーションへの協力、に～よん文庫への協力
33回 1,122人

⑦一般利用

登録団体：子育てサークル0団体、一般グループ12団体、大阪市利用1団体
394回 4,947人

<登録者数>

乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	合計
938人	714人	460人	69人	3人	2,184人

(2) ファミリー・サポート・センター事業

「大阪市ファミリー・サポート・センター西淀川支部」として、子どもを預けたい人と預かりたい人を会員登録し、仕事や急用時に子どもを預け、互いに子育てを支え合うファミリー・サポート・センター事業を実施した。

①サブリーダー会議 「活動状況と課題」等 3回

②会員数と活動件数

	依頼会員数	提供会員数	両方会員数	ペア数	活動件数
西淀川支部	119人	45人	24人	178	542件

(3) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

①交流の場の提供と促進

・参加人数 11,603人
・開設日数 250日

②相談と援助

相談件数 142件

③子育て支援講習

・実施回数 20回
・参加人数 928人

④ブックスタート

・実施回数 13回
・参加人数 267人